※令和４年度以降入学生用

学校番号	1203

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理研究	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	自主教材						
副教材等	自主教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地球の歴史、気候、自然環境及び地形から、そこに住む人々の生活様式から、地理学を学びます。
また、最新の研究成果をもとに教科書では学ばないさまざまな学説を視聴覚教材などを使ってわかりやすく解説します。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・地図や映画などの教材を活用しながら、諸地域の自然環境、社会的環境、地域間の交流、国際関係などについて理解する。
【思考力、判断力、表現力等】
・諸地域の自然環境や文化的特色について多面的かつ多角的に考察しながら、日本や世界の諸課題について意見や考えをもち、他人に対して説明することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
・国家や地域社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野にいれ、課題をもって学習に取り組む姿勢を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

観点の趣旨	・世界及び日本国内における自然と生活や産業の地域的な特徴について着目し、理解することができる。 ・世界及び日本国内におけるさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。	・世界及び日本国内における自然と生活や産業の地域的な特徴に着目し，概念などを活用して多面的・多角的に考察，探求することができる。 ・考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりすることができる。	・知識及び技能を獲得したり，思考力，判断力，表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また，粘り強い取り組みを行う中で，自らの学習を調整しようとしている。 ・地理に関わる諸事象について，現代社会における諸問題と関連付け、そこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、 それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	日本地誌	１．オリエンテーション ２．日本の文化 ３．日本の人口 ４．宗教観	a:日本の人口、文化、宗教について理解している。 b:日本の地域的な特徴についてその類似や相違を考察している。 c:周囲の環境にも目を向けようとしている。	授業内取組 定期考査 発問評価 ワークシート 小テスト	授業内取組 定期考査 ワークシート 資料活用	授業内取組 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	世界地誌	1．世界の文化 2．世界の人口 3．世界の地形	a:世界の人口、文化、宗教について理解している。 b:世界の地域的な特徴についてその類似や相違を考察している。 c:身近な地域にも目を向けようとしている。	授業内取組 定期考査 発問評価 ワークシート 小テスト	授業内取組 定期考査 ワークシート 資料活用	授業内取組 振り返りシート
２学期	アジア地誌	1．アジアの位置・範囲と諸地域区分 2．地域における宗教の分布と地域紛争 3．アジアの諸産業	a:アジアの人口、文化、宗教について理解している。 b:アジアの地域的な特徴や産業とその類似や相違を考察している。 c:周囲の環境にも目を向けようとしている。	授業内取組 定期考査 発問評価 ワークシート 小テスト	授業内取組 定期考査 ワークシート 資料活用	授業内取組 振り返りシート
	ヨーロッパ地誌	1. ヨーロッパの自然環境 2. ヨーロッパの文化と背景 3. ヨーロッパの農業 4. ヨーロッパの社会	a:ヨーロッパの人口、文化、宗教について理解している。 b:ヨーロッパの地域的な特徴や産業とその類似や相違を考察している。 c:周囲の環境にも目を向けようとしている。	授業内取組 定期考査 発問評価 ワークシート 小テスト	授業内取組 定期考査 ワークシート 資料活用	授業内取組 振り返りシート
３学期	アメリカ・アフリカ地誌	1. 南北アメリカの自然環境 2. 北アメリカの都市地理 3. アフリカの多様性 4. 貧困と開発援助	a:アメリカ・アフリカの人口、文化、宗教について理解している。 b:アメリカ・アフリカの地域的な特徴や産業とその類似や相違を考察している。 c:周囲の環境や社会的な課題にも目を向けようとしている。	授業内取組 定期考査 発問評価 ワークシート	小テスト 授業内取組 定期考査 ワークシート	資料活用 授業内取組 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度